

株主の皆様へ

第89期 上半期報告書

2013年4月1日 ●●● 2013年9月30日

ご挨拶

株主の皆様には、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第89期上半期（2013年4月1日から2013年9月30日まで）が終了しましたので、ご報告申し上げます。

当上半期における経済環境は、円安による輸入品の高騰や中国の景気減速懸念等があるものの、いわゆる「アベノミクス」によるプラス効果が实体经济に徐々に波及していることに加えて、震災復興需要、緊急経済対策の本格化や消費税率引き上げ前の駆け込み需要等もあり、景気は回復基調が持続している中で推移しました。

このような環境下におきまして、三井金属グループの上半期業績は、極薄銅箔や薄膜材料等の販売が好調であったこと、金属・資源事業等における円安効果による増収や在庫要因等により、前年同期比で増収増益となりました。

5月に発表いたしました3か年の中期経営計画（13中計）の初年度である本年は、今後の三井金属グループの発展成長を期する上で非常に大切なスタートの年であり、着実に計画を実行していくことで、2015年度の経常利益450億円達成に向けて企業価値の増大に努めてまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。なお、中間配当につきましては、財務体質の改善を優先し、見送りとさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

仙田 眞雄

「3か年の中期経営計画（13中計）」（2013年度～2015年度）

主要指標	2015年度	(ご参考) 2012年度
売上高 (億円)	4,700	4,172
経常利益 (億円)	450	162
自己資本比率 (%)	38.0	33.4
D/E レシオ (NET)	0.88	1.13
連結借入金残高 (NET) (億円)	1,690	1,652

CONTENTS

- ご挨拶
- 第89期上半期レビュー データ編
- 第89期上半期レビュー ニュース編
- インタビュー
取締役 兼 常務執行役員
(三井金属アクト株式会社 代表取締役社長)
坂井 治文
- CLOSE UP
三井金属アクトものづくりセンター
自動車用機能部品の
世界同一品質と高い生産性を実現

決算のポイント

POINT
1

亜鉛など主要地金において円安効果がプラスに影響し、また、極薄銅箔や薄膜材料の販売が好調。この結果、売上高は前年同期比97億円（4.7%）の増収。

売上高
2,167 億円
(前年同期比 4.7% 増)

POINT
2

損益面では、極薄銅箔や薄膜材料等の販売の増加、薄膜材料製品のたな卸資産評価の見積り変更による一過性の影響、円安効果および在庫要因等により、営業利益は前年同期比61億円（107.3%）、経常利益は前年同期比79億円（168.5%）の増益。さらに固定資産除却損等の特別増益、税金費用等を計上した結果、四半期純利益は前年同期比61億円（231.3%）の増益。

営業利益
119 億円
(前年同期比 107.3% 増)

経常利益
126 億円
(前年同期比 168.5% 増)

POINT
3

通期では、当上半期決算と足もとの状況を勘案し、売上高は4,357億円、営業利益は209億円、経常利益は214億円、当期純利益は131億円の見込。

四半期純利益
87 億円
(前年同期比 231.3% 増)

※通期見込につきましては、2013年11月5日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

セグメント別業績の概況



※各セグメントの売上高および経常利益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。

※グラフはセグメント別の売上高構成比を表しています。

6月

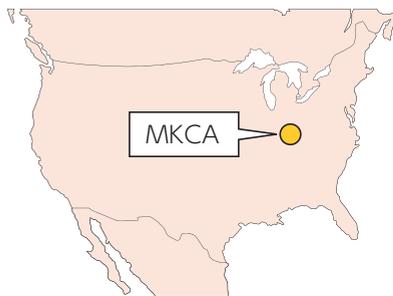
**第88期定時株主総会を開催
会社提案を承認可決、取締役・監査役を選任**

6月27日午前10時より、ゲートシティホール（ゲートシティ大崎ウエストタワー地下1階）にて第88期定時株主総会を開催しました。すべての会社提案議案が承認可決され、新任取締役4名を含めた取締役10名および新任監査役1名が選任されました。

7月

**米国に触媒事業の製造・販売拠点を設立
2015年7月より操業開始予定**

米国ケンタッキー州に四輪車向け排ガス用触媒の製造・販売を行う当社100%出資子会社「Mitsui Kinzoku Catalysts America Inc.」(MKCA)を設立しました。操業開始は2015年7月の予定です。北米の堅調な四輪車需要を背景に高まる現地の技術ニーズに対応し、触媒事業のさらなる拡大を図ります。



● 新任役員のご紹介



取締役
ひさおか いっし
久岡 一史

常務執行役員
電子材料事業本部長



取締役
もり としき
森 俊樹

常務執行役員
CRO
(最高危機管理責任者)



取締役
ひらばやし ゆたか
平林 豊

常務執行役員
金属・資源事業本部
副本部長
資源開発部長



社外取締役
さとう じゅんや
佐藤 順哉

独立役員



社外監査役
みうら まさはる
三浦 正晴

7月

**キャリア付極薄銅箔の増産へ
銅箔上尾事業所の生産能力を増強**

スマートフォン向けなどのICパッケージ回路基板に用いられるキャリア付極薄銅箔「MicroThin™」について、生産能力を増強すべく、銅箔上尾事業所の設備増強工事を開始しました。工事は2014年3月に完了し、生産能力は従来の月産100万㎡から同140万㎡に拡大する予定です。急速な需要増にも対応しつつ、新製品の開発を加速していきます。



MicroThin™

今後のIRスケジュール

2014

2月 上旬
2014年3月期
第3四半期決算発表

3月 31日
決算日・基準日

5月 上旬
2014年3月期決算発表

6月 上旬
第89期定時株主総会
招集ご通知発送

6月 下旬
第89期定時株主総会開催

自動車産業の変化を捉え、さらにグローバルな体質へシフト

Q1

はじめに、三井金属アクト株式会社について教えてください。

三井金属アクト株式会社は、三井金属の5事業体の1つとして自動車機器事業を展開し、自動車ドア周りの機能部品を製造・販売しています。ドアロックやパワースライドドアユニットなどを、大手日系自動車メーカーを主とする国内外のお客様に提供しており、主力のサイドドアロックは世界トップクラスのシェア(約13%)を占めています。私たちが作っているドアロック関連の部品は、地味ながらも車に乗る人の安全を守るといふ今までもこれからも変わらない重要な役割を担っており、安全基準を含めた様々な基準のクリアと厳格な品質が求められています。そのため技術上のノウハウや経験の蓄積を有している点が私たちの強みであります。

国内においては、2012年度に2つの生産拠点を閉鎖し九州工場1工場体制としました。今後、九州工場では、中国や韓国といった海外に近いという地理的利点を活かしたものづくりを展開し、自立自走による操業体制を確立してまいります。また、先進的な量産化技術を国内外の各生産拠点

へ発信する役割を担う「ものづくりセンター」を山梨県韮崎市に新たに設置しました。これについては後で詳しくご説明します。

一方海外においては、中国やタイの拠点を核として7つの生産拠点を展開しておりますが、2013年度からメキシコとインドネシアにも新たに生産拠点を設置しました。

これらのグローバル展開により、拠点間の役割分担と連携で量産効果を上げ、さらなるコストダウンと品質の安定化を実現できる点も、私たちの強みと言えるでしょう。

Q2

現在の事業環境を踏まえ、自動車機器事業の成長戦略をどのように考えていますか？

近年の自動車産業を概観すると、国内の自動車需要が縮小する中で、輸出が国内生産を支えてきたわけですが、長期にわたる円高の

Q3

そうした成長戦略の推進における重点的な施策についてご説明願います。

今、述べました拠点戦略や営業戦略、新製品開発を推進していくには、今まで以上にグローバルな視点を持つて事業活動を展開していくことが必要です。そこで重要となる取り組みが「三井金属アクト本社機能の強化」です。2013年7月に実施した本社移転を契機に、国内外の事業活動を一元的に管理・支援できる体制づくりとともに、海外でも通用するグローバル人材の育成を進めていきます。

そしてものづくりの点では、三井金属アクト社内の技術本部を軸とする開発体制と、「ものづくりセンター」による生産拠点サポート体制が大きな役割を果たします。

このうち「ものづくりセンター」では、金型の製作や製品の基本設計など要素技術の確立や量産技術のシミュレーションにより、工程やノウハウを数値化することで、ものづくりの具現化を図り、海外生産拠点の迅速な量産シフトを実現します。日本でのトライアルを通じて量産化リスクをなるべく排除し、必要に応じて人材の育成・供給にも対応する。それが「ものづくりセンター」の機能です。従来から進めてきた現場管理・生産管理・エンジニアリングの3本の柱を連携させて世界同一品質を実現する「MPW (Mitsui Production Way=三井生産

インタビュー



方式」の導入とともに、生産体制の世界最適化に大きく寄与していくでしょう。

ものづくりセンターについては裏面「COLSEUP」もご覧ください。

Q4

自動車機器事業の今後の見通しについてお聞かせください。

上半期の業績は、日系自動車メーカーの中国市場における販売低迷が響き、計画を大きく下回りました。下半期からは中国の状況が改善しつつあり、北米市場の回復も期待できると見ております。

今後の方向性としては、6つのテーマに基づいた取り組みを進めていきます。そのうち3つは先ほどご説明した「拠点戦略」「営業戦略」「新製品開発」です。これらとともに「グローバル人材の育成」「原価低減」「物流体制の構築」の3つもテーマに掲げ、さらなる成長を実現していきます。



取締役 兼 常務執行役員
(三井金属アクト株式会社 代表取締役社長)

坂井 治文

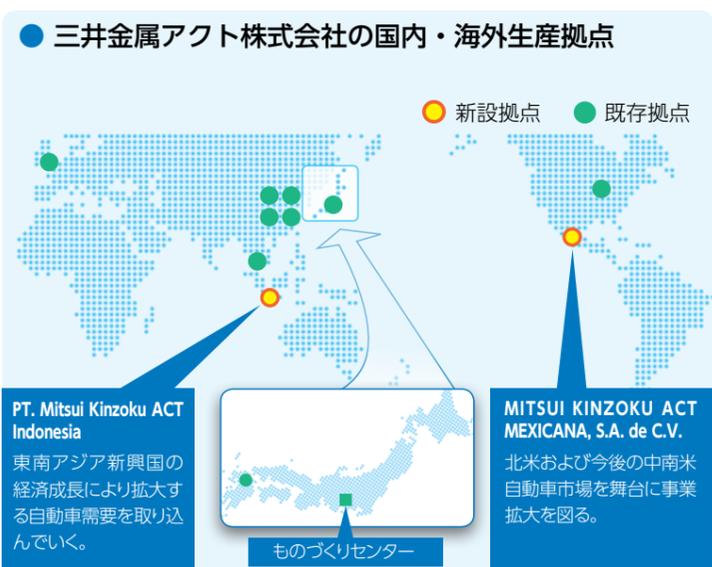
継続により、日系自動車メーカーの海外生産移転と現地調達化が促進されました。

さらに今の市場成長はモーターリゼーションの進展が著しい新興国が中心であり、それらの地域では「小さな車」「安い車」のニーズが高まっています。そこで私たちは市場に近い所で生産を行う、つまり市場立地という考え方で先ほど述べたとおり中国およびタイの生産拠点を核とし、加えてメキシコやインドネシアの生産拠点からも市場にアプローチするという拠点戦略を展開しています。

また、営業戦略としては、売上の約7割を占める日系自動車メーカーに加え、次の成長の柱となる海外自動車メーカーとの取引も拡大していきたいと考えています。そのためにも私たちは、他社に真似のできないものを作るといふスタンスで、新製品の開発に注力しています。

具体的な数値目標としては、三井金属グループが3カ年の中期経営計画(13中計)において目指す2015年度の「経常利益450億円」のうち、自動車機器事業は100億円を達成していく設定です。

三井金属アクト株式会社は、三井金属グループの中でも特にグローバル展開しています。また、三井金属の他の事業も自動車産業との関わりがあります。これらのことから、海外進出にあたってのノウハウや自動車産業の情報の提供等を通じて、グループの事業展開をサポートすることができると思っています。そうした役割も果たしながら、これからも三井金属の一層の発展に貢献してまいります。



三井金属アクトものづくりセンター 自動車用機能部品の 世界同一品質と高い生産性を実現



ものづくりセンター外観

2012年10月1日に設立されたものづくりセンターは、「ものづくり部」と「製造部」で構成されています。「ものづくり部」は生産パラメーターの決定や最適な生産設備・工程のシミュレーションを行い、それを受けて「製造部」が実働ラインでトライシ、データの収集を行います。その結果に基づき課題を洗い出し改善を繰り返すことで、品質と生産性向上の仕組みを確立させ、三井金属アクト社内にある技術本部を通じて各生産拠点へ発信しています。また、課題は技術本部と共有し、量産しやすい製品づくりに活かしています。

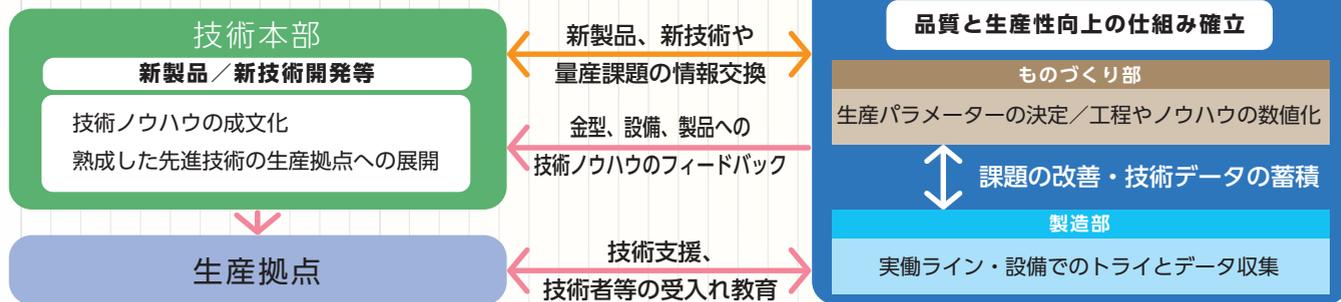
ものづくりセンターには人材の育成・供給という面で生産拠点をサポートする役割もあります。各拠点の技術者等に対して、製造現場での実地研修を行う他、「安全体感施設」「ものづくり道場」といった設備での教育や訓練を行います。これにより個々の技術力を高め、各拠点のものづくりの総合力向上につなげていきます。

用語解説

生産パラメーター
作業手順や機械の運転速度など、製品を量産する上で最適な加工条件

今後、これらの生産拠点サポートの役割を果たし、世界中どこでも日本と同じ品質の製品をお客様へ提供するという世界同一品質の生産体制の実現に寄与してまいります。

● ものづくりセンターの役割



株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日 3月31日
 期末配当の基準日 3月31日
 中間配当の基準日 9月30日
 定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法
 電子公告とする。
 (http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/)
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

〈株式事務のお取扱い〉

1. 未払配当金の支払のお申出先
 左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先
 ① 証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
 ② 証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

三井金属 検索
<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

三井金属鉱業株式会社

総務部 〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号
 TEL:03-5437-8240



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。